

令和 5 年 6 月 22 日現在

機関番号：12604

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2022

課題番号：18H00721

研究課題名(和文) 村落档案史料を用いた近現代中国華北農村社会史像の再構成

研究課題名(英文) Reconstruction of the Historical Image of Rural Society in Northern China in Modern and Contemporary China Using Village Records

研究代表者

田中 比呂志 (TANAKA, Hiroshi)

東京学芸大学・教育学研究科・教授

研究者番号：90269572

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、主に中国・華北の山西省の村落档案を利用して、さらに他の文献史料や農村聞き取り調査を交えて、1949年前後から2000年代の中国農村社会の動向を検討することによって、名も無き民衆が政治変動や、経済変動を受け止め、それに対応してきたのか、農村社会の凝集力や人間関係がどのように変化してきたかを検討・考察することであった。コロナウィルス蔓延に伴う研究環境の悪化によって、第2年目以降は、訪問調査の実施はかなわなかったが、それに代えて大型の中国農村調査、社会調査史料を購入して、分析をした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

現代中国の政治環境の「悪化」のため、外国人はもとより中国人研究者でさえも中国農村訪問調査や聞き取りの実施は躊躇される状態になってきている。その点からすれば、档案史料を収集・分析し、かつまた1949年以降2000年頃までの農村に関わる未公開史料、聞き取り調査資料を蓄積したことは、将来の研究の基礎となるものと言えよう。検討そのものは、現段階では分析の途上であるが、他地域の農村社会の歴史(例えば台湾農村など)と比較して、「華人農村社会論」などの構築に資するものである。

研究成果の概要(英文)：This research mainly utilizes village records in Shanxi Province in northern China, and also incorporates other historical materials and interviews with rural villages to examine trends in Chinese rural society from around 1949 to the 2000s. , whether nameless people have accepted and responded to political and economic changes, and how the cohesion and human relations of rural society have changed. Due to the deterioration of the research environment due to the spread of the coronavirus, it was not possible to conduct a visit survey from the second year onwards, but instead, I purchased large-scale Chinese rural surveys and social survey historical materials and analyzed them.

研究分野：中国近現代史

キーワード：村落档案 華北農村 山西省

1 研究開始当初の背景

1949年の中華人民共和国成立以後の国家建設の過程において、権力を社会へ浸透させることを通じて上からの社会統合が進められる中、中国基層社会には如何なる凝集力が生まれたのか。そして基層社会は権力の浸透と政治動員・社会統合（具体的には土地改革から社会主義化、集団化、四清運動や文化大革命などを指す、時期的には1949年前後から1980年頃、以下、当該期と表記する）にどのように対応したのか。一方、基層社会は、この間に社会経済的発展の基盤をどのように構築したのか。従来の研究においては国家権力の浸透に関しては、政治動員を通じての上から基層社会へ浸透させていくという一方的な方向性のみが強調され、しかもややもすればそれは政策策定レベルでの研究にとどまっていた。すなわち、上からの浸透に対して、それを受け止める基層社会の実態や対応に関しては、ほとんど研究が及んでいなかったのである。また、1949年以降の国家建設の過程で、伝統的社会システムや経済システムは社会主義的システムに代替されていったと見なされるようになり、長期的時間軸の中で中国の基層社会の歴史的变化へ着目する視点は弱まってしまった。

そのような状況に至った要因は、長期的時間軸の中に当該時期を位置づけようとする視角の弱さと史料の限界に尽きる。ところが1980年代後半に至ると、このような弱点が徐々に克服されるようになった。日本の研究者がかつて刊行された満鉄調査などの調査史料を有効に使用しつつ、中国の研究者と連携して中国の農村に入り、農村の景観や村内の状況を直接観察し、かつ農民への聞き取り調査を実施して従来の限界の克服を目指していったのである。その結果、重要な成果（例えば三谷孝編『中国農村変革と家族・村落・国家-華北農村調査の記録』第一巻（1999年）、第二巻（2000年）、汲古書院など）を発表し、これによって研究の大幅な進展、レベルの向上がもたらされた。とはいえ全体の研究状況はなおまだ中国農村社会の動態的把握に関しては必ずしも十分ではなく、民衆が政治的には上からの政治的動員に対してどのように対応したかについては詳細に明らかにすることができなかった。

このような状況の克服をめざして調査・研究は継続され、そして申請者もそれに参加してきた。その結果、現代中国農村の社会経済的発展の基盤は、実は当該期に形成された伝統的なシステムの維持とその利用、新たなる凝集力の生成、そして教育等を通じて当該期に試行錯誤の中で形成されていたことがわかってきた。だが、従来の研究視角では、中国の社会経済体制は集団化政策や人民公社体制を実現したものの、結局はそれが機能不全に陥ってしまい、そこで市場経済システムを採用したことにより、発展をするようになったとされてきた。ところが、このような見方をすると、当該期に各地域社会で試行錯誤が積み上げられてきたことが無視されてしまうことになる（菱田雅晴編著『中国基層からのガバナンス』、法政大学出版局、2010年）と述べられているように、改革開放以後、現在に至るまでの村落の社会経済的発展・変化の説明がつかないのである。そこで申請者グループは、当該時期にこそ、国家建設・社会統合が上から進められる中、一方では農村の社会経済的発展のための基礎が形成されたと見るべきではないかという仮説を立てた。そして、この仮説を検証するための切り札とも言うべき重要な手がかりが村落档案史料の存在なの

である。本研究は、この村落档案資料を用いて中国・華北農村社会の史実態に迫ろうとするものである。

2 研究の目的

これまで従事してきた中国農村での調査・研究の過程において、村落档案（とうあん＝村の行政文書）史料と呼ばれる村の行政記録に遭遇した。この史料は多くの手書きの文書を含み、日本近世史で言う地方（じかた）文書に匹敵するもので、研究を格段に進展させることのできる極めて貴重な史料であるが、現在なおまだ十分に利用されていない。そこで本研究では、この村落档案史料を用いて、

（１）1949 年前後から 1980 年頃までの社会主義建設期における国家権力の浸透・社会統合の推進に対する村民らの対応について詳細に検討する。

（２）（１）の作業の過程で村民らの中に如何なる人的結合（凝集力、村の磁場）が形成されたのかを検討する。

（３）その変化は農村の社会経済的発展の基盤と如何に関係するのか、を明らかにする。そしてこの具体例な事例の考察を通じて、さらに 1980 年頃以降から顕著になってきた中国農村の社会経済的発展の状況を歴史的に位置づける。

3 研究の方法

本研究は、以下の 6 点を研究方法としてきた。

（１）これまでに収集してきた村落档案史料を分析していくことを中心として進める。

（２）海外連携研究者と連携して、農村訪問聞き取り調査を行い、村落档案史料の内容を跡づける。

（３）新たな村落档案史料の発掘と収集を目指す。

（４）この研究開始以前の農村訪問聞き取り調査で得られた調査記録の整理と再検討を行い、本研究と接続する。

（５）既存の、あるいは新たに発掘・刊行された中国社会・農村の調査記録も利用する。

以上の 5 項目を設定して、研究を進める予定であった。

（６）華北農村を相対化するために、他地域の農村の訪問聞き取り調査を行い、華北農村の相対化に努める。

4 研究成果

本研究は 2018 年度に開始し、2022 年度までの五年間で実施した。この間、収集した「村落档案史料」の読解を進めるとともに、華北農村を訪問して聞き取り調査を進めた。2018、2019 の両年度はメンバーで手分けをして華北各農村（靈石県椒仲村、靈石県溝峪灘村、交城県段村、霍州市義旺村、霍州市賈村、洪洞県杏溝村、静海県馮家村、黎県侯家营村）をそれぞれ数回ずつ訪問して聞き取り等を行い、定点調査を進めてきた。その成果は祁建民・弁納才・田中比呂志編『中国の農民は何を語ったか』（汲古書院、2022 年 3 月刊）に収録し、公開した。また、華北農村の相対化を主な意図として湖南省農村、東北農村を訪問して聞き取り調査を行った。

また、2018年度には華東師範大学学当代（現代）史研究中心を訪問し、村落档案史料の一つである山西省 W 村人民公社史料を閲覧・収集した。さらには海外研究協力者である南開大学の研究者がやはり村落档案史料を使って分析した H 村を参観した。また、南開大学中国社会史研究中心華北文書研究室編の『X 村档案目録』を入手した。そして、研究代表者が山西省 DB 村の村落档案史料を利用した研究論文 2 編及び関連論文を公表したのをはじめとして、メンバー各位が論考を公表した。

2019 年度には、湖南農村調査に関係して、武漢の華中師範大学中国農村研究院を訪問し、同院所蔵の村落档案史料を閲覧し、これまで収集・整理・分析を進めている山西省 D 村村落档案史料や華東師範大学現代中国との比較・検討を行った。

しかし、周知のようにコロナ・ウィルス蔓延に伴う移動の制限などによって、中国の研究機関や中国農村の訪問が制限されてしまったことから、2020 年度以降は文献史料の分析を中心とする研究に従事することにした。村落档案史料、華東師範大学で収集した山西省 W 村人民公社史料に加えて『近代中国農村問題研究資料叢編』（上海科学技術文献出版社）、『民国鄉村建設文献叢刊』（国家図書館出版社）、『日本対華調査档案資料選編』（社会科学文献出版社）、『日本対華調査档案資料選編続編』（社会科学文献出版社）、『中国占領地の社会調査』（～、近代代資料刊行会）などの史資料を分析し、村落档案資料の相対化や、より長期的時間軸の中で華北農村社会の変遷を明らかにして行く作業を進めた。また、この研究以前に実施してきた中国農村訪問調査の記録を再度整理して、本研究との接続を目指し、弁納オー・田中比呂志・古泉達矢編『華東・華中農村訪問調査報告書』（汲古書院、2023 年 2 月刊）、田中比呂志・弁納オー・『中国山西省高河店訪問調査の記録』（2023 年 3 月刊）としてまとめた。

2022 年 12 月には、海外連携研究者を交えて、国際ワークショップ「中国近現代史研究と史資料」を東洋文庫（筆者は研究員を務める）、中国農村研究会（筆者も所属）実施した。実施は 2022 年 12 月 10 日、対面とオンラインの所謂ハイブリッド形式で実施した。科研メンバーが企画、設営、司会、コメンテーター、そして報告を担当した。報告者は全部で 5 名（オークランド大学博士院生・唐三驕、中国政法大学・鄭清坡、華中師範大学・張晶晶、山西大学・孫登洲、筑波大学・山本真）で、いずれも本科研に深く関わる報告内容であった。

そしてこの研究の発展系を模索する中で「華人農村社会論」の構築を目指して、台湾の台湾農村研究者とコンタクトを取り、連携して台湾農村史研究を目指し、台湾訪問調査を進めている。また朱謙・漆敬堯『台湾農村社会変遷』等の研究を分析して、華北農村社会研究をより広い視野から捉えることに向かいつつある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計27件（うち査読付論文 7件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 878
2. 論文標題 書評 山田七絵著『現代中国の農村発展と資源管理』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 39-41
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 2021年版
2. 論文標題 動向 文化 歴史学（青山治世との共著）	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国年鑑	6. 最初と最後の頁 228-230
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 2021年版
2. 論文標題 動向 文化 概観	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国年鑑2021年版	6. 最初と最後の頁 203-203
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 80-1
2. 論文標題 1920年華北大飢饉下の威海衛における救荒政策	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東洋史研究	6. 最初と最後の頁 104-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢・張晶晶・胡平江・田中比呂志	4. 巻 第51号
2. 論文標題 「華中農村訪問調査() --2018年10月,2019年10月,湖南省--」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『日本海域研究』	6. 最初と最後の頁 57～63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 842号
2. 論文標題 「清末民初における国家と個人・地域 - - 国家建設と地域社会・個人」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『歴史評論』	6. 最初と最後の頁 57～69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 71集
2. 論文標題 華北農村訪問調査(8)付東北農村訪問調査 - - 2017年9月山西省L県J鎮J村、吉林省J市Q郷Z村、S市Y県S窩 - -」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『東京学芸大学紀要(人文社会科学)』	6. 最初と最後の頁 139～144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 2020年第1期
2. 論文標題 「日本戦時動員与村落共同体関係研究的学术史回顧」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『南開史学』2020年第1期	6. 最初と最後の頁 213～238
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 2020年第5期
2. 論文標題 「戦時日本の中国農村調査と華北日軍の占領政策」	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『社会科学輯刊』	6. 最初と最後の頁 170～179
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 第70集
2. 論文標題 「彼は如何にして正されたのか? - 四清運動期のある農村幹部の取り締まりと信仰歴」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『東京学芸大学紀要（人文社会科学系）』	6. 最初と最後の頁 93～103 頁
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 78-1
2. 論文標題 「福建省興化地域社会と結社、キリスト教、阿片 民国初期の黄濂の乱に着目して」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東洋史研究	6. 最初と最後の頁 105～146
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 11
2. 論文標題 理想の再建：中共18回党大会後の政治選択	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東アジア評論	6. 最初と最後の頁 1～18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民、内山雅生、他	4. 巻 41
2. 論文標題 中国農村慣行調査研究会座談会の記録(1)再調査に至る道 2002年2月4日	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 139 ~ 161
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 1
2. 論文標題 地域の権力と宗教 - - 山西省平遥県道備村の事例 - -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国農村社会の歴史的展開	6. 最初と最後の頁 147 ~ 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田中比呂志	4. 巻 第70集
2. 論文標題 彼は如何にして正されたのか?--四清運動期のある農村幹部の取り締まりと信仰歴--	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 東京学芸大学紀要 (人文社会科学系)	6. 最初と最後の頁 93 ~ 103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 祁建民	4. 巻 8
2. 論文標題 毛沢東的階級劃分戦略与中国伝統社会結構	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜漢学研究	6. 最初と最後の頁 100 ~ 110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 祁建民・孫登洲	4. 巻 3
2. 論文標題 階級觀念下的農村宗族問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究紀要（長崎県立大学国際社会学部）	6. 最初と最後の頁 45～53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 祁建民	4. 巻 11
2. 論文標題 Remodeling the Ideal: The Political Choices of the Communist Party of China since the 18th CPC National Congress	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア評論	6. 最初と最後の頁 1～18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山雅生・祁建民	4. 巻 3
2. 論文標題 中国内陸農村訪問調査報告（9）	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究紀要（長崎県立大学国際社会学部）	6. 最初と最後の頁 39～44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内山雅生	4. 巻 41
2. 論文標題 中国農村慣行調査研究会座談会の記録(1)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近代中国研究彙報	6. 最初と最後の頁 50～60
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林幸司	4. 巻 Vol. 222,
2. 論文標題 From "Guild" to "Chamber of Commerce": Bankers and Commercial Associations in 1950s Chongqing, China.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Seijo University Economic Paper	6. 最初と最後の頁 145 ~ 167
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢・盧クン・席金花・田中比呂志	4. 巻 61-2
2. 論文標題 華北内陸農村調査報告(1) 2017年9月・2018年9月山西省J鎮J村、L県N鎮G村」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 金沢法学	6. 最初と最後の頁 269 ~ 286
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古泉達矢	4. 巻 22
2. 論文標題 第一次世界大戦期の華工送出と威海衛統治問題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東アジア近代史	6. 最初と最後の頁 49 ~ 63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 614
2. 論文標題 歴史から見る中国の国家・社会関係、集権と分権	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 東亜	6. 最初と最後の頁 90 ~ 97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 7
2. 論文標題 中国近現代社会史研究の現状と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 研究中国	6. 最初と最後の頁 16～21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真・胡艶紅	4. 巻 72-11
2. 論文標題 台湾海峡、馬祖列島の近現代史と島民の生活誌 日中戦争時期から冷戦時期までを中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国研究月報	6. 最初と最後の頁 15～34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山本真	4. 巻 1
2. 論文標題 地域防衛と結衆の原理	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中国農村社会の歴史的展開	6. 最初と最後の頁 229～247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計13件 (うち招待講演 9件 / うち国際学会 5件)

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 『支那時報』とその華中・華南関係記事 - - 「満洲事変」までの期間を中心として - -
3. 学会等名 シンポジウム「東洋文庫刊『戦前日本の華中・華南調査』をめぐって」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 戦時期の華南調査について 福建・広東を中心に
3. 学会等名 シンポジウム「東洋文庫刊『戦前日本の華中・華南調査』をめぐって」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 第一次世界大戦期のイギリスによる中国人労働者の徴募活動について
3. 学会等名 九州史学会2021年度大会東洋史部会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 アヘンと『近代世界』
3. 学会等名 歴史学会第46回大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山本真
2. 発表標題 「福建省興化的地方社会与結社、基督教、鴉片以民国初期的黄濂之乱為 關注点」 2020-11-7 北京市
3. 学会等名 『第一屆“身体与 20世紀中国” 検討会』（北京市、オンライン）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 「日本人は何故「空気」を読もうとするのか--近世期の日本社会と中国社会との比較から見えてくるもの--」
3. 学会等名 華東師範大学での講演（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 「近現代中国における国家と個人・地域」
3. 学会等名 歴史科学協議会第53回大会（大会全体テーマ:変貌する国家と個人・地域、二日目テーマ：国家と個人・地域の歴史的諸相）報告（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 「1920-21年の華北における旱魃について：威海衛における救荒政策を中心として」
3. 学会等名 『華東師範大学/金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門 合同シンポジウム「東アジアの都市・農村をめぐる環境とその持続可能な発展」』（中華人民共和国・華東師範大学）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 「1920-21年の華北大旱魃と威海衛」
3. 学会等名 『多元文明与跨域対話：区域研究の新視野』台湾師範大学（台湾・台北）（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中比呂志
2. 発表標題 日本人は何故「空気」を読もうとするのか--近世期の日本社会と中国社会との比較から見えてくるもの--
3. 学会等名 華東師範大学での講演（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 内山雅生
2. 発表標題 中国における近年の農村調査研究の現状と課題
3. 学会等名 （公財）東洋文庫公開講演会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 林幸司
2. 発表標題 From “Guild” to “Chamber of Commerce” : Bankers and Commercial Association in 1950s Chongqing, China.
3. 学会等名 World Economic History Conference Massachusetts Institute of Technology, Boston, U. S. A.（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古泉達矢
2. 発表標題 1920-21年の華北における旱魃について：威海衛における救荒政策を中心として
3. 学会等名 華東師範大学/金沢大学環日本海域環境研究センター連携部門（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 祁建民、弁納 才一、田中 比呂志	4. 発行年 2022年
2. 出版社 汲古書院	5. 総ページ数 620
3. 書名 中国の農民は何を語ったか	

1. 著者名 祁建民	4. 発行年 2020年
2. 出版社 商務印書館	5. 総ページ数 319
3. 書名 『自治与他治 近代華北農村社会和水利秩序』	

1. 著者名 林幸司	4. 発行年 2019年
2. 出版社 北京：中国社会科学文献出版社	5. 総ページ数 317
3. 書名 『近代中国民間銀行的誕生』	

1. 著者名 内山雅生編著、田中比呂志、祁建民、山本真	4. 発行年 2018年
2. 出版社 御茶の水書房	5. 総ページ数 263
3. 書名 中国農村社会の歴史的展開	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山本 真 (YAMAMOTO Shin) (20316681)	筑波大学・人文社会系・教授 (12102)	
研究分担者	内山 雅生 (UCHIYAMA Masao) (30151905)	宇都宮大学・国際学部・教授 (12201)	
研究分担者	林 幸司 (HAYASHI Kouji) (30612775)	成城大学・経済学部・教授 (32630)	
研究分担者	祁 建民 (KI Kenmin) (70448819)	長崎県立大学・国際社会学部・教授 (27301)	
研究分担者	古泉 達矢 (KOISUMI Tatsuya) (90724831)	金沢大学・法学系・教授 (13301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 中国近現代史研究と史資料	開催年 2022年～2022年
------------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------